

製品名: C7 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86523**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:94 kDa; Observed MW:94 kDa

抗原情報

遺伝子名	C7
別名	Complement component C7
遺伝子 ID	730
SwissProt ID	P10643
免疫原	ヒト C7 の合成ペプチド

背景

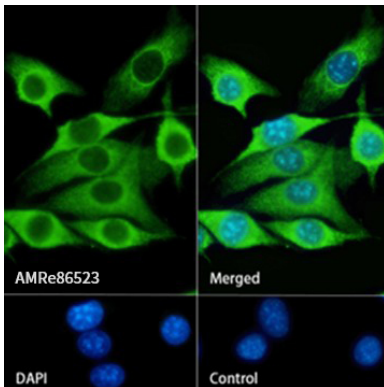
この遺伝子は、自然免疫系の終末補体経路の一部として、補体成分 C5b、C6、C8、C9 とともに膜侵襲複合体を形成する血清糖タン

パク質をコードしています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、コレステロール依存性細胞溶解素 /膜侵襲複合体/パーフォリン様 (CDC/MACPF) ドメインを含み、宿主免疫および細菌病原性に関与する細孔を形成する構造的に関連する分子の大規模なファミリーに属しています。このタンパク質は、C5b-C6 サブ複合体に結合して膜侵襲複合体の形成を開始し、リン脂質二重層に挿入されて膜アンカーとして機能します。この遺伝子の変異は、C7 欠損症と呼ばれる稀な疾患と関連しています。[RefSeq 提供、2016 年 11 月]

研究分野

-

画像データ



C7 ウサギモノクローナル抗体を使用して C7 を標識した NIH/3T3 細胞の免疫蛍光分析。